

第6回「東京国際空港再拡張事業に係る環境影響評価技術検討委員会」 議事概要

【開催日時】 平成17年 4月13日(水) 10:00～12:00

【開催場所】 アジュール竹芝 16F 『曙』

【資料】

資料 - 1	第5回「東京国際空港再拡張事業に係る環境影響評価技術検討委員会」議事概要(案)
資料 - 2	羽田空港再拡張事業に係る入札契約について
資料 - 3	羽田空港新滑走路建設工事の概要
資料 - 4	環境影響評価方法書の手続きの状況
資料 - 5	方法書についての都県知事の意見とその対応
資料 - 6	今後のスケジュール
参考資料 - 1	方法書についての意見の概要
参考資料 - 2	方法書についての都県知事の意見

1. 開会挨拶

2. 議 事

- ・各資料に基づき説明を行った。
- ・各委員から以下の発言があった。

3 - 5. 方法書についての都県知事の意見とその対応について

委 員: 資料 - 5 の都県知事の意見とその対応の資料は、この形で事業者の見解として都県に示すものか。

事務局: 資料 - 5 に記述した対応方針を基本に、検討・整理して、事業者見解とする。

委 員: 大気予測において、供用後の広域モデルに関しては窒素酸化物総量規制マニュアル等による従来の方法ではなく、新しいモデルを使用する理由を明らかにするよう知事意見が出ている。説明不足で現行モデルとの整合性を問われぬよう、新モデルを使う意義及び事例、関空第二期工事、環境省における光化学スモッグ予測、都環境局環境研によるもの、などについても明示してはどうか。

事務局: 実績等を踏まえ、事業者見解を検討・作成したい。

委 員: 航空機騒音及び振動の調査地点の追加及び地点の選定について、説明をするように。

第6回「東京国際空港再拡張事業に係る環境影響評価技術検討委員会」 議事概要

事務局:対応方針を元に、委員会の意見を受けて見解を作成する。

航空機騒音については、千葉県知事意見で調査地点の追加として、君津市北子安、木更津市真舟、千葉市東部地域という指定があり、これに可能な限り対応するよう、追加調査地点を選定する。

エンジンランナップについては、川崎市等から騒音及び低周波音を予測評価して欲しいと意見があった。最も影響があると思われる地点として、大田区の羽田、川崎市の殿町の2ヶ所で調査を実施したい。

国道357号線及び首都高湾岸線については、羽田空港に出入りする車両が環状八号線、弁天橋通りと同様に集中するため、把握する。

委員:温室効果ガスは、大気汚染の航空機の影響によるものと同様の予測を行うのか。

事務局:温室効果ガスに関しては、燃料使用量等を把握し、排出原単位を乗じて排出量を計算する。燃料使用量等に関しては、大気汚染の発生源と同じである。

委員:廃棄物に関して、前回の大気分科会の資料では、発生量が旅客数単位当たりで予測されている。空港全体の面積や空港施設の規模、旅客便数等、他のパラメータも影響するのではないか。

事務局:最終的には、飛行場面積等、他の要因についても考慮して排出量を予測する。

委員:廃棄物処理におけるリサイクルについて、事業者としてどこまで指導できるのか。リサイクル率等を明確にできるかが問題ではないか。

事務局:排出者、処理・処分する業者にどのような指導が可能か、検討する。

委員:流況等に関する風や出水の影響への知事意見に対して、なるべく予測を行うという方針には、一時的な現象への予測の手法には未熟な部分もあるが、賛成である。予測手法については、具体的に検討していくべきである。

事務局:計算上の風の入力条件等を検討中であり、指導を受けながら進めたい。

委員:流況の予測は水質、水生動植物、生態系等を考慮して、四季に予測を行ってほしいかという知事意見に対して、東京湾の水塊構造を代表する夏季と冬季で実施する予定であるという物理構造の観点からの回答で良いのか。

事務局:委員の意見等も頂きながら検討していきたい。

委員長:委員から選出された多摩川等に関する意見については、今後ご指導を頂き、対応

第6回「東京国際空港再拡張事業に係る環境影響評価技術検討委員会」 議事概要

を検討して頂きたい。

事務局:方針を検討し、ご指導を頂きたいと考えている。

委員:海岸地形に関する意見の対応方針で、「事業実施区域周辺での状況については、航空写真等の既存資料で対応する」とあるが、羽田の周辺は航空写真があるのか。

事務局:航空写真は、定期的には撮ったものがある。ただし港や羽田空港の形状を写すことが目的のため、海は真っ青に写っており、干潟とか浅場などが色合いで確認できる写真ではないが、水際線の確認などを行うことに活用する。東京湾全域の地形については、各種地形図や水際線の航空写真など、最新情報を用いて対応していきたい。

委員:この意見は最新の地形の情報を元にして、予測評価をせよという主旨だと思う。

事務局:そのように理解している。

3 - 6 . 今後のスケジュールについて

事務局から、今後のスケジュールについて説明があった。

各委員から、以下の発言があった。

委員:知事意見等に対する事業者の見解と環境影響評価項目の追加については、十分に精査する必要がある。